

(Voter Turnout:投票率)

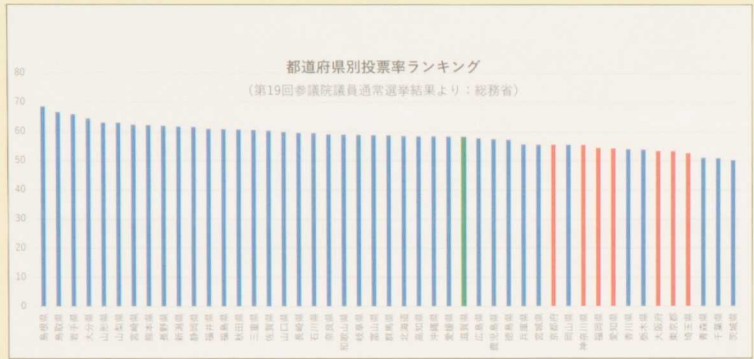
低下傾向なの？

大丈夫かな？

Voter Turnout

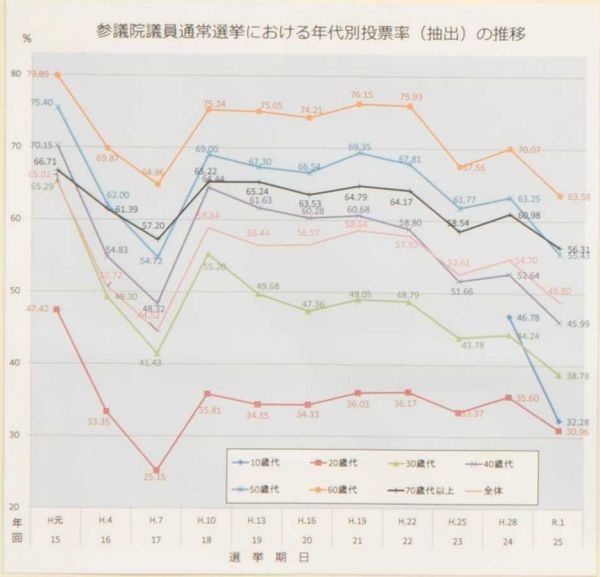
選挙の投票率

各都道府県の投票率は…？

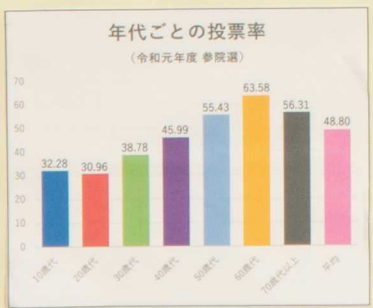


全国平均は56.44%で、滋賀県は58.16%で29位(緑)。最下位は50.18%の茨城県。グラフにすると、政令指定都市を有するなど人口の多い都府県が下位に、反対に人口の少ない府県が上位にあることがわかった。

年代別で比べると…



全年代において投票率が低下傾向にあることがわかる。ただ、ある年代だけの投票率が極端に下がるということではなく、全年代が概ね同じような推移をしている。



若い年代ほど、投票率が低いことがわかる。ただ、70代以上になると投票率が低下している。病気や老いが原因で動けない人がいるからだろうか。

？ 日本以外はどうなのか

G7の投票率



民主主義・選挙支援国際研究所(IDEA)の調査から、日本の選挙投票率は世界的に見ても低いことがわかった。他国の選挙制度を調べてみると、72.93%と投票率が高いイタリアでは投票が義務付けられている。ただし、罰則等は設けられていない。アメリカでは大統領選挙が大きな盛り上がりを見せるので投票率も高い数値になるかと期待したが、議会選挙の投票率は日本と大差なかった。

World ranking

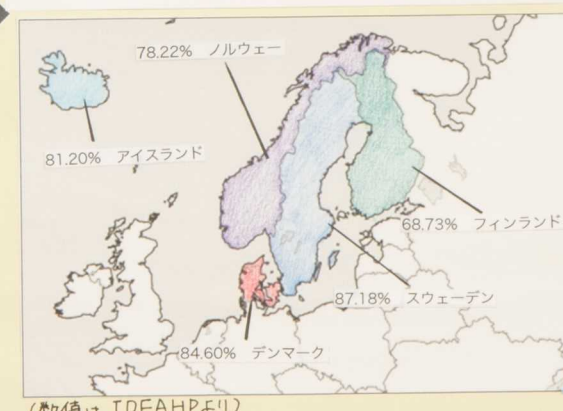
出典: IDEA HP

順位	国名	投票率(年度)
1	ベトナム	99.26% (2016)
2	ラオス	97.94% (2016)
3	シンガポール	95.81% (2020)



選挙の投票率としては信じ難いほど高い数値である。イタリアでは投票が義務付けられていたのに対し、ベトナムとラオスでは義務付けられていない。シンガポールでは投票しなかった場合、選挙人名簿から抹消され選挙権を失う。

地域的な傾向として、北欧諸国の投票率が高い。



考察

・日本の選挙投票率は低下傾向にあり、世界的に見ても投票率が低いことがわかった。

〈日本の投票率を上げるために有効な方法〉
・学校教育で選挙の意義を伝える。
→投票率87.18%のスウェーデンの教科書では、「投票は、独裁制の国に住む人々が持っていない民主制の権利であり、ある政党の主張すべてに賛成出来なくても、彼らが最も重要だと思う問題について良い意見を持っているとすれば、その政党に投票する」とある。日本の教育でも、「投票する政党や人の決め方」といった具体的な説明をすれば、選挙への興味や身近さを感じてもらえて投票率が上がるのではないかと。

